

家畜排せつ物 (堆肥) の管理・利用について

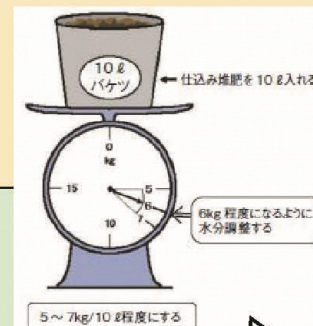
お問合せ先
農業振興普及課
0920-45-3038

牛ふん等(家畜排せつ物)は適正に管理しないと、臭いやハエ発生の原因となります。管内でも畜産環境に関する問い合わせが毎年出ており、畜産農家をはじめ管理者の皆様におかれましては、今一度、堆肥の管理についてご確認をお願いします。

管理のチェック項目

【家畜排せつ物法の管理】

- 家畜排せつ物は**堆肥舎**もしくは**堆肥盤の上に覆い**を設けて管理している。
※特に屋根の無い堆肥盤は降雨による流出防止のため、ビニールシート等で被覆が必要です。
- 管理施設の床にはコンクリート等の**不浸透材**を用いている。
※畑等での長期保管は地下浸透の原因となります
- 堆肥舎や堆肥盤の**定期的な点検**を行っている。
※破損等があれば修繕しましょう



堆肥がバケツ
10Lでの重さ
6.5kgが目安

【堆肥の利用】

- 堆肥は**適量**を施用している。
※飼料作物栽培では、**原物2t/10a**が目安です。
- 施用した堆肥は**速やかにすきこみ**を行い、作付けを行う。
※臭いやハエの原因になりますので施用後は速やかにすき込みましょう。

※堆肥の水分調整について

良質な堆肥をつくるには、通気性が確保できる比重調整が必要です。副資材(オガクズやバーク等)と混ぜて調整を行いましょう。

ミカンコミバエ侵入警戒

～増殖源となる果樹・野菜の果実は放置しないでください！～

お問合せ先
農業振興普及課
0920-45-3038

○ミカンコミバエとは？

体長7mm位の小型のハエの一種でかんきつ類や野菜類などの果実に寄生する重要病害虫です。

東南アジアなどから台風の強風等に乗って日本国内へ侵入してくる事が確認されています。長崎県でも昨年5～12月にかけて県央、県北地区を中心にミカンコミバエの侵入が確認され、誘殺版の設置や落下果実の処分など徹底した防除対策を実施しています。



ミカンコミバエの成虫

○どんな被害があるの？

卵を産み付けられた野菜や果樹の果実は、幼虫による食害で腐敗・落下し、ひどい場合には収穫皆無となります。



幼虫による食害



放置された果実

○まん延防止に向けたお願い

果樹・野菜の果実は放置しないでください！

壱岐では昨年、ミカンコミバエの発生は確認されていませんが今年飛来する可能性は十分考えられます。採り残した果実や落下した果実は増殖源になる恐れがあるので放置せず処分するなど事前の対策にご協力をお願いします。